

# エフエムさがみ 「地元応援 マチラブ！」への出演

## 1.取組の概要

エフエムさがみにて放送中の「地元応援 マチラブ！」に児童学科有志の学生が約5分間出演し、子どもや保育に関する情報を発信する。

## 2.出演番組の概要(番組企画書より引用)

町田のまちに、暮らす、働く、集う多様な人たちが参加する、リスナー参加型コミュニティ番組「マチラブ!」。「防災」「防犯・地域連携」「街おこし」等、町田市を守るため活性化を応援するために、さまざまな最新情報をお届けして参ります。目指すは、地域密着 × エンターテインメントが融合した「地域密着応援エンタメ番組」です。多数の個人や地域によって支えられる番組を目指します。

放送日：毎週木曜日 21:00~21:59

番組公式Twitter： [@machilove\\_radio](https://twitter.com/machilove_radio)

## 3.令和4年度活動実施までの経緯と番組出演までの取組の流れ

令和3年4月、町田市内に住む番組プロデューサーである奈良英喜氏から、地元FMラジオ局の番組に関わらせていただくご提案をいただきました。奈良氏は、数々の番組制作に携わる一方、地元愛に溢れており、地域住民の立場で大学生への支援・育成に取り組んでいらっしゃいます。奈良氏から学生に、直接番組の趣旨や内容について説明をしていただき、学生たちはすぐに番組出演の準備に取り組むようになりました。教員としては、学生たちが学んだことを自分の言葉で、社会に発信する場として最適であると考えました。

第1回目の放送は令和3年5月で、それ以降、令和4年11月までに9回にわたって番組に出演をさせていただいております。番組出演までの取組の流れは次のとおりです。

**ステップ1** 各回の放送内容の検討、出演者の決定

**ステップ2** 町田市近辺の子ども向け施設等の調査

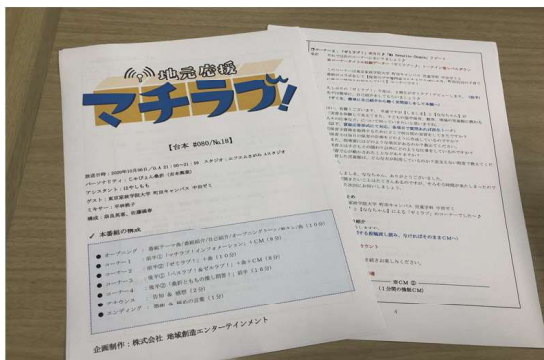
(ホームページを中心とした文献調査・インタビュー調査)

**ステップ3** 放送内容の検討(調査結果とリスナーへのメッセージ等)

**ステップ4** 放送シナリオの作成

**ステップ5** エフエムさがみスタジオで、プロデューサーや他の出演者と打ち合わせ

**ステップ6** 「地元応援 マチラブ！」の「ゼミラブ」コーナーに出演



放送用台本



CM中のひとコマ

## 4.放送テーマ

町田市近辺にある子育てに有益な情報提供、実習生として幼児教育の現場や子育て支援の現場に携わって感じたこと、考えたことをテーマとしました。放送当初は、学生たちは調査者目線で調査し、考察したことを発信していましたが、放送中のリスナーの反応、そして、一緒に出演したパーソナリティーの反応から、学生たちが、今の学生の立場で体験し、感じたことのあるままの内容を発信することで、他者の気持ちをより強く捉えることができることに気づき、放送内容が段々と学生自身の体験した内容へとシフトしていきました。

## 5.令和4年度実施日及び放送内容

### (1)10月6日放送

出演者：児童学科4年2名(しましま、ななちゃん)

放送内容：実習を体験して見えてきた、子どもの姿や保育、教育、地域の児童館に携わる人々の仕事

- ・ 保育士資格を取得するための実習先(施設の種別のみ)と日数
- ・ 保育士は毎日の保育の計画をどのように作成しているか。また、指導案にはどのような項目があるのか。
- ・ 保育士は子どもとの関わり以外にどのような仕事をしているのか。
- ・ 実習で心が動かされたこと。
- ・ 実習した児童館の利用者の様子

### (2)11月17日放送

出演者：児童学科4年2名(ひめ、ひつじ)

放送内容：

- ・ 東京家政学院大学で行っている子育て支援の内容と参加して感じる子どもたちの成長について
- ・ 幼稚園実習で責任実習を体験して大変だったことと楽しかったこと
- ・ 卒論のテーマと進み具合

## 6.出演後の学生たちの反応

- ・ はじめは緊張したが、一緒に出演したパーソナリティーの方が上手に話を聞き出してくださったので楽しくあっと言う間に時間が過ぎてしまった。もう少し話したかった！
- ・ 放送局で働く方が素敵だった。
- ・ 保育の現場をよく知らない方に発信する時の言葉の表現が難しかった。



出演中のひとコマ



スタジオ前で

### プロジェクト概要

#### ●テーマ

エフエムさがみ「地元応援 マチラブ！」への出演

#### ●パートナー

株式会社地域創造エンターテインメント

#### ●担当教員

現代生活学部 児童学科  
准教授 中田 範子

#### ●実施期間

令和4年5月～令和4年11月